踊る人も見る人もみんなでワッショイ

7月20日、串良総合支所前駐車場周辺で、「くしら夏祭り」が開催されました。街頭全体踊り大会やフラダンス、大抽選会、納涼花火大会などの催しがあり、約4,800人が来場。街頭全体踊り大会では、踊り連ごとに音楽に合わせた威勢のいい掛け声と、息ぴったりの踊りが披露され、観客も一体となって祭りを楽しんでいました。

きれいな肝属川をみんなで残そう

7月28日、肝属川沿いで、「第36回肝属川クリーン作戦」が実施されました。市役所で行われた開始式では、小・中学生が高らかに清流宣言。その後に実施された清掃活動では、参加した74団体1,242人が8つの班に分かれて樋渡橋（下祓川町）から馬込橋（吾平町下名）までの約9kmの区間を清掃し、合計で800kgのごみが拾い集められました。

海での事故に備えた救助訓練

7月27日、鹿屋港で、「鹿屋市救難所沿岸海難救助訓練」が行われました。訓練では、消防職員による心肺蘇生法の講習・実技指導や、喜入海上保安署による救助活動の模擬演習など様々な訓練を実施。また、7月8日に天神町付近の海岸で救助活動を行った森彰（もりあきら）さん（右・古江町）、池田悟（いけださとる）さん（左・西原4丁目）に感謝状が贈呈されました。

鹿屋勢として初優勝 全国の舞台へ

7月24日、第一鹿屋中学校空手道の選手・監督らが市役所を訪れました。これは、6月に開催された「第17回鹿児島県中学生空手道大会」女子団体組手の部で鹿屋勢として初優勝し、8月に北海道で開催される全国大会出場を前に行われたもの。主将の内村日葵（うちむらひなた）さん（3年）は「期待に応えられるように、良い結果を残したい」と抱負を語りました。

串良ファイターズ軟式野球九州大会へ

7月31日、串良ファイターズ軟式野球スポーツ少年団の選手・監督らが市役所を訪れました。これは、5月に開催された「第32回九州少年軟式野球県予選大会」で準優勝し、8月に福岡県で開催される九州大会出場を前に行われたもの。主将の市來慶唯（いちきけい）さん（串良小6年）は「一人ひとりが良いプレーをできるように頑張りたい」と抱負を語りました。

純国産P-1哨戒機（ピーワンしょうかいき）の運用開始

7月29日、海上自衛隊鹿屋航空基地で、P-1哨戒機が初めて配備されたことによる式典と見学会が行われました。P-1は、同基地で運用されているP-3C哨戒機の後継機。プロペラからジェットエンジンに変わったことで、飛行速度や航続距離の向上が図られます。同基地では、今後P-3CからP-1へ順次切り替えていく予定です。

地域みんなで育てた「ジャンボかぼちゃ」

7月30日、旭原町の畑で、ジャンボかぼちゃの収穫が行われました。このかぼちゃは、4月上旬に旭原町内会と地元の長寿会・子ども会が一緒に種をまき育てたもの。この日収穫したかぼちゃの中には重さが100kg近くのものもあり、数人が力を合わせて運んでいました。収穫されたかぼちゃは市役所など市内施設に展示され、多くの人を驚かせました。

鹿屋中央高校の熱戦に感動

7月28日、平和リース球場（鹿児島市）で、「第101回全国高等学校野球選手権鹿児島大会」の決勝戦が行われ、鹿屋中央高校が甲子園の切符をかけ、神村学園と対戦しました。球場やリナシティかのやに詰め掛けた応援団が声援を送りましたが、接戦の末に惜しくも敗退。球児の活躍は、多くの市民に最後まで諦めない強い気持ちと感動を与えてくれました。

東西串良が協力して美化活動を行う

7月16日、串良川河川敷で、「串良川クリーン作戦」が行われ、市内及び東串良町の団体関係者や住民など約140人が参加し、串良橋から堅田橋までの間に落ちている約100kgのごみを拾い集めました。

独のスポーツ青少年団が7年ぶりに来鹿

7月25日～29日、日独スポーツ少年団同時交流事業の一貫で、ドイツのスポーツ青少年団が市内を訪れ、霧島ヶ丘公園でのマウンテンバイク体験や鹿屋体育大学の施設見学などを行いました。

神野の自然とアユ獲りを楽しむ

7月28日、吾平自然公園近くの姶良川で、「神野アユつかみ獲り大会」が開催されました。親子連れなど約400人が参加し、子どもたちはびしょ濡れになりながら、必死にアユを追いかけていました。

竹馬作りで世代間交流！

7月20日、大浦町公民館で、竹馬作りが行われました。主催した高齢者クラブ「大浦げんき会」の会員らは自ら調達した竹を使って、子どもたちと竹馬作りを楽しみ、交流を深めました。

天神でしか見られないかまんて踊り

7月27日、菅原神社境内で、「天神夏祭り」が開催されました。会場では、市無形民俗文化財の「かまんて踊り」の奉納や、地元子ども会のステージ発表などが行われ、大いに盛り上がりました。

田崎から高須海岸へと下る夏の伝統行事

7月31日、田崎町の七狩長田貫（ななかりおさたぬき）神社（田崎神社）で、伝統行事の「夏越祭り」が行われました。神輿を担いだ一行は高須町内を歩き、浜辺で茅（ちが）の輪をくぐるなど無病息災が祈念されました。